

こたえ

- ドリルやテストがおわったら、うしろの「がんばりひょう」にシールをはりましょう。
- まちがえたら、かならずやりなおしましょう。
かんが かつ 「考え方」もよみなおしましょう。



≥1. | かずと すうじ 1 ページ

1

2

1	2	3	4	5
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5

考え方 1 から5までの、ものの数を数えて、同じ数の●と対応させます。

≥3. | かずと すうじ 3 ページ

3

4

6	7	8	9	10
6	7	8	9	10
6	7	8	9	10

考え方 6 から10までの、ものの数を数えて、同じ数の●と対応させます。

≥2. | かずと すうじ 2 ページ

2

3

①3	②5
③4	④1

考え方 1 もの数を数え、●と対応させ、その数を数字で表せるようにします。

2 具体物の個数を数字で表します。数えまちがいのないように気をつけます。

≥4. | かずと すうじ 4 ページ

4

5

①9	②6	③10	④8
----	----	-----	----

考え方 1 もの数を数え、●と対応させ、その数を数字で表せるようにします。

2 もの数が多くなってきました。2度数えたり、数えもらしたりしないように気をつけます。

➤5. 2 なんばんめ

5 ページ

- ① ①2 ②4 ③4
 ② ①2 ②4 ③3
 ③ 6




考え方 ① 前後の位置関係を数で表し、前から、後ろからという言葉を使って、表現できるようにします。

② 上下の位置関係を数で表し、上から、下からという言葉を使って、表現できるようにします。

③ 右からと指示された位置を、しっかり確認できるようにします。

➤6. 2 なんばんめ

6 ページ

- ① ①4 ②6
 ② ① まえ  うしろ
 ひだり  みぎ
 ③ まえ  うしろ

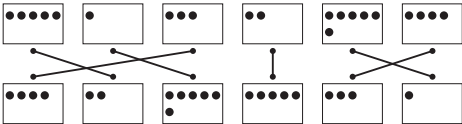
考え方 ① 前から、後ろから～番目を、数字で正しく表せるようにします。

② 前から、後ろからなどの表現に対応して、ものの位置を確認できるようにします。

① の「まえから4だい」はものの集まりを表す数で、集合数といいます。一方、② の「ひだりから5こめ」などは、そのものの順番を表す数で、順序数といいます。問題をよく読んで、集合数、順序数のどちらなのかを確認させます。

➤7. 3 いくつと いくつ

7 ページ

- ① ①5 ②4 ③3
 ④2 ⑤1
 ② 
 ③ ①5 ②2
 ③7 ④4

考え方 ① 6がいくつといくつからでき









ているかを理解させます。

② 7がいくつといくつからできているか、数図を使うことで理解させます。

③ 8の分解を数字で表せるようにします。

➤8. 3 いくつと いくつ

8 ページ

- ① ①  と  ②  と 
 ③  と  ④  と 
 ② ①5 ②7 ③1
 ③ ①8 ②4 ③5
 ④7 ⑤9

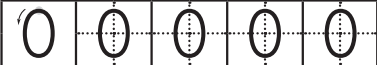
考え方 ① 9の分解を、色をぬる作業を通して理解できるようにします。

② 10の構成の理解は、十進数の理解の基礎として大変重要です。何度も練習させましょう。

③ 10の分解で、□と□の形式の問題のときに、左右どちらがわからなくても答えられるように学習しましょう。

➤9. 3 いくつと いくつ

9 ページ

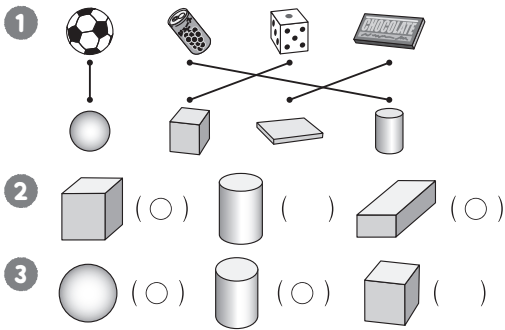
- ① 
 ② ①2 ②^{れい}0
 ③ ①4 ②0

考え方 ① 0の書き方に気をつけます。

② “0”という数の学習です。0は、何も無いことを表す数字です。何もなくても、数字で表せることを理解させます。

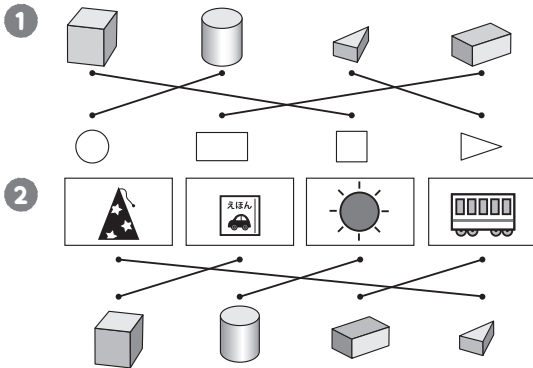
③ かごの中のリンドの数を数え、何も無いということが0であることを理解させます。

10. 4 いろいろな かたち 10 ページ



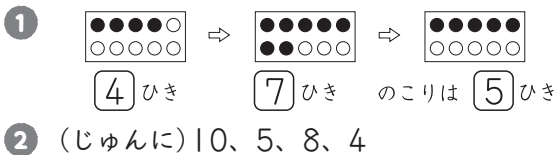
考え方 ① 球、円柱、立方体、直方体の形を、具体的なものと照らし合わせて学習します。
 ② 立体図形の特徴を、経験から予想して答えられるようにします。
 ③ 立体図形の特徴を、視覚的に判断できるようにします。

11. 4 いろいろな かたち 11 ページ



考え方 ① うつしたときの図が、積み木を真上から見たときの形であることに気づかせます。
 ② どの積み木をうつすと、どんな形になるかを考えられるようにします。

12. ⑤ ふえたり へったり 12 ページ



考え方 「ふえる」と「へる」に注意しながら、●やおはじきの数をきちんと数えられるようにします。

13. ⑥ たしざん(1) 13 ページ

- ① ①7 ②6
 ② しき $5 + 3 = 8$ こたえ 8こ
 ③ ① しき $4 + 2 = 6$ こたえ 6だい
 ② しき $5 + 4 = 9$ こたえ 9こ

考え方 ① 6、7の数の合成を、具体的なものと照らし合わせて理解させます。
 ② 数の合成をおはじきを通して理解し、式として表す学習の第一歩です。
 ③ 数えた数を実際の式にあてはめ、答えを出せるようにします。

14. ⑥ たしざん(1) 14 ページ

- ① しき $3 + 5 = 8$ こたえ 8ひき
 ② しき $5 + 4 = 9$ こたえ 9ほん
 ③ ①5 ②7
 ③9 ④5
 ⑤10 ⑥8
 ⑦8 ⑧10

考え方 ① $3+5$ の計算の考え方を学習します。
 ② $5+4$ の計算の考え方を学習します。
 ③ たし算の練習です。

15. ⑥ たしざん(1) 15 ページ

- ① しき $3 + 4 = 7$ こたえ 7こ
 ② しき $4 + 6 = 10$ こたえ 10にん
 ③ しき $4 + 2 = 6$ こたえ 6ひき

考え方 ① 「あわせていくつ」の考え方で、 $3+4$ の式をたて、答えを出せるようにします。
 ② 「ふえるといくつ」の考え方で、 $4+6$ の式をたて、答えを出せるようにします。
 ③ ②と同じ考え方で、 $4+2$ の式をたて、答えを出せるようにします。

16. ⑥ たしざん(1) 16 ページ

① $7+2$ $3+3$ $3+7$ $2+6$ $4+3$ $1+4$
 6 9 5 10 8 7

② ①4 ②10

③ $8+1$ $1+6$ $3+2$ $8+2$ $5+3$ $4+2$
 $4+1$ $6+4$ $5+4$ $2+5$ $1+5$ $7+1$

考え方 ① それぞれのカードの計算をして、答えのカードと正しく線で結ぶことができますようにします。
 ② たし算の練習です。
 ③ それぞれのカードの計算をして、答えが同じカードと線で結ぶことができますようにします。

17. ⑥ たしざん(1) 17 ページ

① ① しき $7+2=9$ こたえ 9こ
 ② しき $3+5=8$ こたえ 8だい

② $7+3$ $2+5$ $8+2$ $8+1$ $4+6$
 (○) () (○) () (○)

③ ①6 ②9 ③8
 ④6 ⑤9 ⑥10

考え方 ① 「あわせていくつ」、「ふえるといくつ」という考え方をもとに式を立てられるようにします。
 ①は「あわせていくつ」の問題です。「あかいあさがお7こ」と「あおいあさがお2こ」をあわせることを読み取らせませす。
 ②は「ふえるといくつ」の問題です。「3だい」から「5だい」ふえることを読み取らせませす。

おうちの ① 問題を正しく理解し、たし算の式を導くことができるようになると、文章問題などの応用問題ができるようになります。

18. ⑦ ひきざん(1) 18 ページ

① しき $6-4=2$ こたえ 2こ
 ② しき $9-5=4$ こたえ 4わ
 ③ ① しき $7-3=4$ こたえ 4だい
 ② しき $9-6=3$ こたえ 3こ

考え方 ① 「減る」ということを、ひき算に結びつけて、式を立てられるようにします。
 ② $9-5$ の式を導き、また計算できるようにします。
 ③ 「でていく」、「たべる」という表現から、ひき算を用いて答えを求められるようにします。

19. ⑦ ひきざん(1) 19 ページ

① しき $8-3=5$ こたえ 5とう
 ② しき $10-6=4$ こたえ 4まい
 ③ ①7 ②4 ③5 ④4
 ⑤2 ⑥8 ⑦3 ⑧5

考え方 ①、② 全体の数からわかっている数をひくことで、わからない数を求めるという考え方ができるようにします。

20. ⑦ ひきざん(1) 20 ページ

① ①、②、③

② $5-1$ $7-5$ $10-3$ $8-5$
 7 3 4 2
 こたえ

③ $10-6$ $9-3$ 6
 $7-1$ $5-2$ 3
 $8-5$ $7-3$ 4

考え方 ① それぞれのカードの計算をして、答えが2になるカードを選びます。
 ③ それぞれのカードの計算をし、答えが同じカードを線で結び、あわせてその答えも書くという学習です。

21. ⑦ ひきざん(1)

21 ページ

- ① しき $6-3=3$ ことえ 3 こ
 ② しき $7-5=2$ ことえ 2 ほん
 ③ ①4 ②2 ③4
 ④1 ⑤3 ⑥6

考え方 ① 数の違いを、ひき算を使って求める学習です。一つひとつ対応させて残った数が、違いの数であることに気づかせます。

22. ⑦ ひきざん(1)

22 ページ

- ① しき $7-4=3$ ことえ 3 こ
 ② しき $8-6=2$ ことえ 2 こ
 ③ ① しき $6-3=3$ ことえ 3 ぼん
 ② しき $10-5=5$ ことえ 5 こ

考え方 ① 異なった色の帽子の数の違いを、式を立てて求められるようにします。
 ② 2種類が混じっている絵から、それぞれの数を数え、式を立てて違いを求められるようにします。

23. ⑦ ひきざん(1)

23 ページ

- ① しき $9-4=5$ ことえ 5 こ
 ② しき $7-5=2$ ことえ 2 こ
 ③ (れい1)

さかなが 7 ひき、かにが 3 ひき
 います。さかなの ほうが 4 ひき
 おおいです。

(れい2)

さかなが 7 ひき、かにが 3 ひき
 います。ちがいは 4 ひき です。

考え方 ① 食べるということを理解して、式を立てて、残りの数を求められるようにします。

② 多いという点に着目して、式を立てて、違いを求められるようにします。

③ さかなとかにをそれぞれ正しく数え、どちらがいくつ多いか少ないか、または違いを考えて、お話を作れるようにします。

24. ⑦ ひきざん(1)

24 ページ

- ① ① しき $8-5=3$ ことえ 3 まい
 ② しき $5-3=2$ ことえ 2 わ
 ② う、え、か
 ③ ①5 ②1 ③3
 ④2 ⑤3 ⑥8

考え方 ① ② 文章から、違いはいくつかを判断し、問題に合わせて式を立て、答えを求められるようにします。

② それぞれのカードの計算をして、答えが6になるカードを選べるようにします。

























- あ $4-3=1$ い $6-5=1$ う $10-4=6$
 え $8-2=6$ お $5-1=4$ か $7-1=6$

**おうちの
かた** ① 残りを求めるときも、違いを求めるときも、ひき算を使うことを、しっかりと理解させましょう。

25. ⑧ かずしらべ

25 ページ

① ①

			
			
			
			
			
			
りんご	みかん	いちご	めろん

- ② いちご ③ めろん ④ いちご

考え方 ① くだものの絵の数をグラフに表すと、数が比べやすくなり、違いがよくわかります。

26. かずと すうじ/なんばんめ
いくつと いくつ/いろいろな かたち

26 ページ

- ★ ① $5 \uparrow 3$ ② $7 \uparrow 4$ ③ $6 \uparrow 9$
 (○)() (○)() () (○)

- ★ ① 5
 ② (じゅんに) 4、3

- ★ ① 2 ② 8 ③ 4 ④ 10

- ★ あ、う

考え方 ② 上から何番目、下から何番目という位置を確認し、正しく表現できるようにします。

③ 図を通して、□にあてはまる数を考え、正しく答えられるようにします。

④ 立体図形の特徴を経験の中で判断し、問題に合った立体図形を選びます。

27. たしざん(1)

27 ページ

① しき $3+4=7$

こたえ 7こ

② ①、②

- ③ ①9 ②7 ③8
④9 ⑤10 ⑥9

考え方 ① 問題の文章を理解し、それに合わせて正しく式を立て、答えを求められるようにします。

② それぞれのカードの計算をして、答えが9になるカードを選べるようにします。

③ たし算の練習です。

ポイント 文章問題を解くときは、式を立てて答えを求めることを習慣づけさせます。

28. ひきざん(1)

28 ページ

① しき $5-4=1$

こたえ 1だい

② しき $9-4=5$

こたえ 5わ

- ③ $6-3$ $5-1$ $4-2$ $9-5$
() (○) () (○)

- ④ ①2 ②5
③6 ④3

考え方 ① バス、電車それぞれを正しく数え、違いを求められるようにします。

② ひき算の式を立て、答えを求められるようにします。

③ それぞれのカードの計算をして、答えが4になるカードを選べるようにします。

④ ひき算の練習です。

29. ⑨ 10より おおきい かず 29 ページ

- ① ①11 ②12
③14 ④16
⑤18 ⑥20

- ② ① $\boxed{11} \uparrow \boxed{13}$ ② $\boxed{15} \uparrow \boxed{12}$
() (○) (○) ()
③ $\boxed{14} \uparrow \boxed{17}$ ④ $\boxed{19} \uparrow \boxed{18}$
() (○) (○) ()

- ③ ①16 ②15 ③19

考え方 ① ●の数を数えて、□に10以上の数を数字で正しく書く学習です。




② 数の大きさ比べです。

③ 具体的なものの数を、数え方を工夫して、それぞれいくつあるか数える学習です。

30. ⑨ 10より おおきい かず 30 ページ

- ① 16
② 3
③ ①15 ②17 ③9
④4 ⑤10 ⑥8
④ ① $\begin{array}{c} 12 \\ / \quad \backslash \\ 11 \quad \text{と} \quad 1 \end{array}$ ② $\begin{array}{c} 16 \\ / \quad \backslash \\ 10 \quad \text{と} \quad 6 \end{array}$ ③ $\begin{array}{c} 20 \\ / \quad \backslash \\ 10 \quad \text{と} \quad 10 \end{array}$

31. ⑨ 10より おおきい かず 31 ページ

- ① ①13 ②20 ③14
② ① 
② 
③ 

考え方 ① 数直線を見ながら、□にあてはまる数を見つけていきます。

② 数の順列の学習です。数が1ずつ増えたり減ったりする様子を、図の中で理解し、数を書き入れられるようにします。

③ 数直線の位置に気をつけて、□に数を書き入れられるようにします。

32. ⑨ 10より おおきい かず 32 ページ

- 1 ① しき $10+3=13$ こたえ 13 びき
 ② しき $13-3=10$ こたえ 10 まい
- 2 ① 12 ② 17 ③ 14
 ④ 20 ⑤ 10 ⑥ 10
 ⑦ 10 ⑧ 10

考え方 ① 10と1けたの数のたし算を、絵と文章の中で理解した後、10といくつという構成に着目して、答えを求められるようにします。

33. ⑨ 10より おおきい かず 33 ページ

- 1 ① しき $13+5=18$ こたえ 18 ほん
 ② しき $16-4=12$ こたえ 12 こ
- 2 ① 15 ② 18 ③ 18
 ④ 14 ⑤ 11 ⑥ 13

考え方 10いくつかの数と1けたの数のたし算は、たされる数を10といくつに分けて、一の位の数どうしのたし算を先にします。10いくつかの数と1けたの数のひき算は、ひかれる数を10といくつに分けて、一の位の数どうしのひき算を先にします。



34. ⑨ 10より おおきい かず 34 ページ

- 1 ① $\boxed{11} \uparrow \boxed{15}$ ② $\boxed{17} \uparrow \boxed{14}$
 () (○) (○) ()
- ③ $\boxed{13} \uparrow \boxed{16}$ ④ $\boxed{19} \uparrow \boxed{12}$
 () (○) (○) ()
- 2 ① $\boxed{13} \boxed{14} \boxed{15} \boxed{16} \boxed{17} \boxed{18} \boxed{19} \boxed{20}$
 ② $\boxed{15} \boxed{14} \boxed{13} \boxed{12} \boxed{11} \boxed{10} \boxed{9} \boxed{8}$
- 3 ① 11 ② 17 ③ 19
 ④ 17 ⑤ 10 ⑥ 14
 ⑦ 13 ⑧ 12

考え方 ① 数の大きさ比べです。
 ② 20までの数がどのように並んでいるかを考えて、数を書き入れられるようにします。②は数が逆に並んでいることに注意させます。
 ③ 10といくつという構成に着目した、たし算とひき算です。

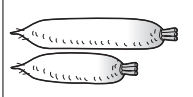

おうちの 20までの数の大きさ比べや、並び方をしっかりと理解することにより、20以上の数の学習をスムーズに理解できます。

35. ⑩ なんじ なんじはん 35 ページ

- 1 ① 4じ ② 10じ
 ③ 7じはん ④ 1じはん
- 2 ①  ② 

考え方 ① 何時、何時半を読む練習です。
 ② 長い針は、12や6をぴったりさすようにかけるようにします。

36. ⑪ おおきさくらべ(1) 36 ページ

- 1 ①  (○)
 ()
- ②  ()
 (○)
- 2 よこ
- 3 ① 12 ② 7
 ③ (じゅんに)えんぴつ、くれよん

考え方 2つのものの長さを比べるときは、一方の端をそろえるようにします。また、2つのものを重ねたり、テープなどを使ったりして長さを比べます。

① ①は、片方の端をそろえた長さ比べです。②は、たるんでいる部分を伸ばすとどうなるかを予想して考えられるようにします。

② 片方の辺を折り曲げて、辺と辺を重ねたときに、余りのある辺のほうが長いことに気づかせます。実際にやってみるとよいでしょう。

③ マス目の数を数えて、それぞれの長さはマス目いくつ分かを求められるようにします。このように、単に見比べるのではなく、マス目の数に置き換えるなどしたほうが正確であることを理解させます。

37. ⑪ おおきさくらべ(1)

37
ページ

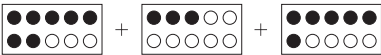
- ① あ
② う ⇨ あ ⇨ い
③ い

考え方 ① 同じ形の容器に移しかえて、水の高さでかさをはべています。

② いろいろな入れ物のかさをコップ何杯分かで比べています。コップを単位にした比較で、コップの数の多いものが、容積が大きいことになります。あはコップで7杯、いはいはコップで6杯、うはコップで9杯分入ります。

38. ⑫ 3つの かずの けいさん

38
ページ

- ① しき $3 + \boxed{4} + \boxed{3} = \boxed{10}$
こたえ $\boxed{10}$ にん
- ② 
- ③ ①6 ②9
③10 ④10
⑤16 ⑥20

考え方 ① 3つの数の計算で、たし算を2回する場合です。絵を見ながらたし算を考えて、□に数を書き入れます。前から順に計算すれば、答えが求められます。

② 式に合わせて、数の分だけ色をぬれるようにします。

③ ①2+3で5、5+1で6。

②2+5で7、7+2で9。

③3+3で6、6+4で10。

④7+2で9、9+1で10。

⑤8+2で10、10+6で16。

⑥6+4で10、10+10で20。

39. ⑫ 3つの かずの けいさん

39
ページ

- ① しき $10 - \boxed{4} - \boxed{2} = \boxed{4}$
こたえ $\boxed{4}$ ほん
- ② しき $\boxed{14} - \boxed{4} - \boxed{5} = \boxed{5}$ こたえ $\boxed{5}$ ひき
- ③ ①1 ②3
③2 ④8
⑤4 ⑥3

考え方 ① 3つの数の計算で、ひき算を2

回する場合です。数字を□に書き入れて、ひき算の式を立てられるようにします。

② 文章をよく読んで、ひき算の式を立てられるようにします。

③ 前から順にひき算をしていきます。

①7-4で3、3-2で1。

②9-2で7、7-4で3。

③10-2で8、8-6で2。

④18-8で10、10-2で8。

⑤15-5で10、10-6で4。

40. ⑫ 3つの かずの けいさん

40
ページ

- ① しき $8 - \boxed{4} + \boxed{3} = \boxed{7}$
こたえ $\boxed{7}$ まい
- ② しき $8 + \boxed{2} - \boxed{4} = \boxed{6}$
こたえ $\boxed{6}$ びき
- ③ ①8 ②8 ③13
④4 ⑤12 ⑥15

考え方 ① 3つの数の計算で、ひき算の後にたし算という順序で計算できるようにします。

② 3つの数の計算で、たし算の後にひき算という計算です。問題に合わせて順序よく計算できるようにします。

③ 3つの数の計算で、たし算、ひき算の混じった場合です。

41. ⑫ たしざん(2)

41
ページ

- ① ①2 ②2 ③2
④13 ⑤13、こたえ $\boxed{13}$ わ
- ② ①1 ②1 ③1
④15 ⑤15

考え方 ① くり上がりのある計算の導入です。文章問題の内容に合わせて、おはじきを使って考えていきます。たす数を分解して、先に10のまとまりを作るという練習をします。

② ①と同じように、問題に合わせて、□にあてはまる数を考えられるようにします。

42. ⑬ たしざん(2)

42 ページ

- ① ①(じゅんに)3、2 ②10
 ③(じゅんに)2、12
- ② ①(じゅんに)4、1 ②10
 ③(じゅんに)1、11
- ③ ①14 ②13
 ③13 ④15
 ⑤11

考え方 10のまとまりを作って計算します。6、7、8、9があといくつで10になるかを考えられるようにします。

43. ⑬ たしざん(2)

43 ページ

- ① ①11 ②14
 ③11 ④13
 ⑤15 ⑥13
 ⑦15 ⑧12
- ② しき $8+4=12$ ことえ 12 だい
- ③ しき $7+6=13$ ことえ 13 びき

考え方 ②、③「くると」、「あわせると」から、たし算になります。自分で式が立てられるよう、しっかり練習させましょう。式の書き方と答えの書き方を確認しておきます。

44. ⑬ たしざん(2)

44 ページ

- ① ①18 ②17
 ③16 ④14
 ⑤13 ⑥12
 ⑦15 ⑧11
- ② しき $9+7=16$ ことえ 16 こ
- ③ しき $8+7=15$ ことえ 15 ひき

考え方 くり上がりのあるたし算では、10を作ることがポイントになります。まず9と1、8と2、7と3、6と4の分解が確実にできるようにしておきます。

45. ⑬ たしざん(2)

45 ページ

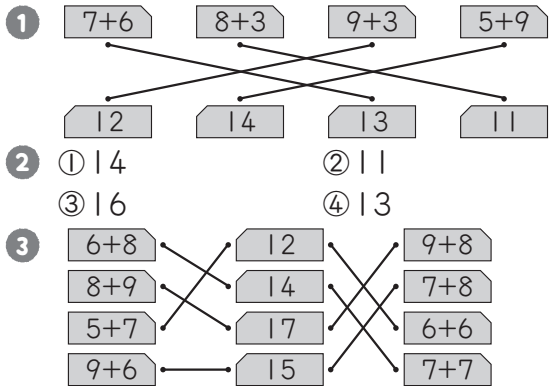
- ① ①3 ②6
 ③(じゅんに)3、13 ④13
- ② しき $5+8=13$ ことえ 13 こ
- ③ ①12 ②11
 ③12 ④14
 ⑤11 ⑥11

考え方 ① たされる数が5以下の、くり上がりのある計算を、問題に沿って、数を分解したり合成したりして答えを求められるようにします。

②、③ たす数を分けても、たされる数を分けても10を作ることができます。

46. ⑬ たしざん(2)

46 ページ



考え方 ① 先に上のカードの計算をし、その答えと同じ数が書いてあるカードを線で結びます。

② カードの表に書いてあるたし算を計算し、その裏に答えを書きます。

47. ⑬ たしざん(2)

47 ページ

- ① しき $6+7=13$ ことえ 13 にん
- ② しき $8+4=12$ ことえ 12 だい
- ③ ①12 ②18
 ③12 ④14
 ⑤16 ⑥12
 ⑦11 ⑧13

考え方 ①、② くり上がりのあるたし算の文章問題です。式を立てて答えを求められるようにします。

くり上がりのあるたし算では、たす数とたされる数で、どちらが10のまとまりを作り易いかを、判断する力が必要になります。たとえば、③の①では、8はあと2で10になります。4を2と2に分けて、8に2をたして10、10と2で12とします。③では、3を1と2に分けて考えます。また、10にたりない数を、分解することによって加えるという考え方も大切です。これらの考え方に注意しましょう。

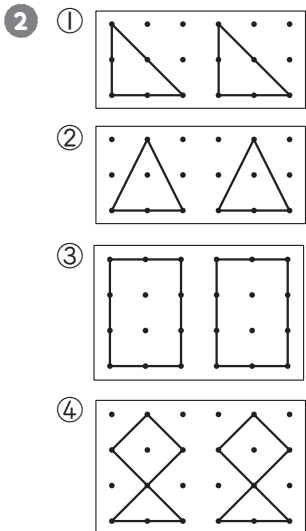
48. ⑭ かたちづくり

- ① ① 12 ② 12
 ③ 10 ④ 18

考え方 三角形の組み合わせ方で、いろいろな形を作ることができます。ほかにもいろいろな形を作らせてみましょう。

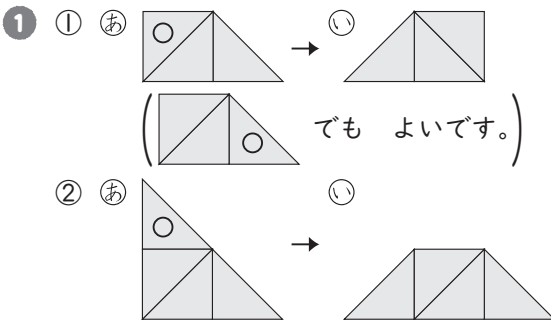
49. ⑭ かたちづくり

- ① ① 4 ② 5 ③ 5
 ④ 14 ⑤ 15



考え方 ① 棒を使って、いろいろな形を作ってみます。④、⑤のように、棒の数が多くなるときには、数え間違いのないように、数えた棒に印をつけさせます。
② 同じ形であれば、向きが違っていてもよいです。

50. ⑭ かたちづくり



- ② ① ぼん うごかす
 ② ぼん とって
 ぼん うごかす

考え方 三角形の色板や棒を使ったり、点を直線でつないだりして、いろいろな形を作ってみます。次に、色板や棒を動かして、もとの形を変えていきます。動かすものを、できるだけ少ない数で考えられるようにします。

- ① 色板を使って実際に動かしてみると、わかりやすいでしょう。
② この問題で扱った0、3、9以外の数字も、棒で作らせてみましょう。

51. ⑮ ひきざん(2)

- ① ① 4
 ② 9
 ③(じゅんに)4、5
 ④5、こたえ⑤こ
- ② ① 5
 ② 7
 ③(じゅんに)5、8
 ④ 8

考え方 ① くり下がりのあるひき算の導入です。具体的に、おはじきを動かして考えます。ひかれる数を10と1けたの数の形に分解してから、ひき算を行うことに気づかせます。

- ② ①と同じ方法でくり下がりのある15-7の計算の仕方を考えます。

52. ⑮ ひきざん(2)

52 ページ

- 1 ①(じゅんに)10、6
②10
③(じゅんに)6、9
④9

2 しき $13-7=6$

こたえ ⑥こ

- 3 ①6 ②3
③6 ④5
⑤8 ⑥8
⑦5 ⑧9

考え方 ① 16-7の16を、図を通して10と6に分けることを確認してから、くり下がりのあるひき算をさせます。

② くり下がりのあるひき算の文章問題です。

53. ⑮ ひきざん(2)

53 ページ

- 1 ①(じゅんに)10、2
②7
③(じゅんに)2、9
④9

2 しき $11-4=7$

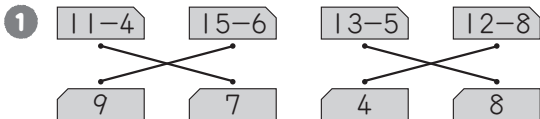
こたえ ⑦こ

- 3 ①8 ②8
③8 ④9
⑤9 ⑥9
⑦7 ⑧7

考え方 ② くり下がりのあるひき算の文章問題です。

54. ⑮ ひきざん(2)

54 ページ



- 2 $14-7$ $12-3$ $13-8$ $11-2$
() (○) () (○)

- 3 ①7
②9
③(じゅんに)8、9
④(じゅんに)7、8

考え方 ① 上のカードの計算をしてから、答えの書いてある下のカードと線で結べるようにします。

② $14-7=7$ 、 $12-3=9$ 、 $13-8=5$ 、 $11-2=9$ になります。

③ ① $11-6=5$ です。 $12-\square$ の答えが5になる \square は7です。

② $14-8=6$ です。③ $14-7=7$ です。

④ $15-6=9$ です。

55. ⑮ ひきざん(2)

55 ページ

- 1 ①10 ②6 ③9
④8 ⑤9 ⑥8
⑦2 ⑧7 ⑨17
⑩16

考え方 答えが10から17になるたし算や、ひかれる数が11から17のひき算の答えや式を求められるようにします。

56. ⑮ ひきざん(2)

56 ページ

- 1 ①あ7 い5 う12
②あ13 い6 う7
③あ11 い4 う7 え14

考え方 これまでは、たし算・ひき算についての文章問題を読んで、立式して答えを求めていました。ここでは、逆にたし算やひき算の問題を作ります。学習してきたたし算、ひき算になるキーワードをきちんと使って、紙芝居のためのお話を作ります。3つの数の計算では、たし算とひき算の順序をよく考えて紙芝居ができるようにしましょう。

57. ⑮ ひきざん(2)

57 ページ

1 しき $16-9=7$

こたえ ⑦ほん

2 しき $14-5=9$

こたえ ⑨わ

- 3 ①2 ②6 ③8
④7 ⑤9 ⑥8
⑦9 ⑧8

考え方 1 数が減る場合の、くり下がりのあるひき算の文章問題です。

2 数の違いを求める場合の、くり下がりのあるひき算の文章問題です。

3 ひかれる数を分解してから計算する、くり下がりのあるひき算です。

おうちのかたへ **3** たとえば、④は14を10と4に分け、10から7をひいて3、3と4で7と計算します。また、7を4と3に分け、14から4をひいて10、10から3をひいて7と計算することもできます。このように、くり下がりのあるひき算の計算の方法を2種類学習しましたが、どちらの方法で計算してもかまいません。自分に合った方法で、工夫して計算する力を身につけさせましょう。

58. ⑬ 0の たしざんと ひきざん **58** ページ

1 ① しき $3+4=7$ ことえ **7**まい

② しき $0+5=5$ ことえ **5**まい

③ しき $4+0=4$ ことえ **4**まい

2 ①2 ②0
③4 ④10

考え方 1 ②、③では、カードを1枚も取れなかったことを0という数で表し、0をたしても数は変わらないことを、図やカードの合計の数で確認させます。

2 0の入ったたし算です。

59. ⑬ 0の たしざんと ひきざん **59** ページ

1 ① しき $4-0=4$ ことえ **4**ほん

② しき $5-2=3$ ことえ **3**ほん

③ しき $3-3=0$ ことえ **0**ほん

2 ①0 ②0
③6 ④10

考え方 1 違いを求める問題です。0をひいても答えは変わらないことの学習と、3-3のように、同じ数どうしてひき算をすると答えが0になることに気づかせる学習です。

60. ⑱ ものと ひとの かず **60** ページ

1 しき $15-8=7$ ことえ **7**こ

2 しき $14-9=5$ ことえ **5**だい

3 しき $6+8=14$ ことえ **14**にん

考え方 1、2 ものと人の数を対応させる学習です。ここでは、全体の数から必要な数をひいた残りの数を求められるようにします。

61. ⑱ ものと ひとの かず **61** ページ

1 しき $6+1=7$ ことえ **7**にんめ

2 しき $9-1=8$ ことえ **8**にん

3 しき $4+8=12$ ことえ **12**ひき


考え方 1 人と順序や数を対応させる学習です。ここでは、前にいる人数に1をたすことで、何人目になるかを求められるようにします。また、指示された位置を図でしっかり確認させます。その後の順番においても、図をよく見て、印をつけて考えられるようにします。

2 何人目とわかっているときに、1をひくことで、前にいる人数を求めます。

3 簡単な図をかいて考えさせましょう。



62. わくわく ぷろぐらみんぐ **62** ページ

- 1** ① ぼうし ()
② あ みぎに すすむ
③ い うえに すすむ
(あ、い)は逆でもよいです。

考え方 指示された位置を図で確認させます。

63. 10より おおきい かず／おおきさ くらべ(1) / 3つの かずの けいさん 63 ページ

- ★ ① 14(○) ② 13()
 11() 15(○)
 ③ 18() ④ 17(○)
 20(○) 16()
- ★ よこの ほうが ■ の 2 つぶん ながい。
- ★ しき $8-5+4=7$
- こたえ 7 にん
- ★ ① 18 ② 5
 ③ 6 ④ 3

考え方 ★ 一方の辺を折り曲げて、辺を重ね合わせたときに、余りのある辺のほうが長いことに気づかせます。

★ 3つの数の計算で、初めに減って次に増える、増減のある計算です。問題の内容をよく読んで式を立てられるようにします。

★ 3つの数の計算です。前から順に計算することに注意させます。

考え方の 3つの数のたし算やひき算における計算の仕方として、たとえば、★③は $10-8=2$ 、 $2+4=6$ のように、2つの式に分けて考えてもかまいません。

64. たしざん(2) / かたちづくり / ひきざん(2) / 0の たしざんと ひきざん / ものと ひとの かず 64 ページ

- ★ $14-8$ $11-8$ $15-7$ $13-6$
 $17-9$ $12-6$ $16-9$ $12-9$
- ★ ① 3まい ② 4まい
- ★ しき $8-1=7$
- こたえ 7 にん
- ★ ① 16 ② 14
 ③ 12 ④ 11
 ⑤ 9 ⑥ 0

考え方 ★ 上下のカードをそれぞれ計算し、答えが同じになるカードを線で結びます。



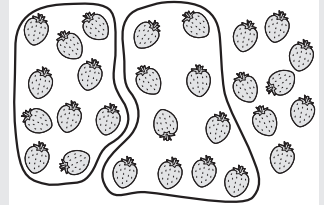
★ はるかさんを除くので、1をひくことで求められます。

考え方の ★ 図の中に色板が何枚並ぶかを、線を引いて数えさせます。

65. おお 大きい かず 65 ページ

- ① (じゅんに) 2、8
 ② (じゅんに) 6、4

考え方 ① まず、10個ずつ線で囲み、10のまとまりの数とばらの数を数えさせます。それを棒の10の束の数とばらの数とで確認させます。



- ② ①は、20
 いくつを扱いましたが、②は、50以上のもの数です。同じように、10の束の数とばらの数を調べさせます。

66. ⑱ 大きい かず 66 ページ

- ① ① 34 ② 40
 ② ① 68 ② 80
 ③ 53 ④ 78
 ⑤ 90 ⑥ 7
 ⑦ (じゅんに) 4、9

考え方 ① 10のまとまりの数を十の位に、残りの数を一の位に対応させて、全体の個数を求められるようにします。

② 十の位、一の位の数から全体の数を求めます。また、全体の数が、十の位、一の位がそれぞれいくつからできているかを考えさせます。

67. ⑱ 大きい かず 67 ページ

- ① 100
 ② ① 30 ② 80
 ③ 59 ④ 99
 ⑤ 35 ⑥ 84

考え方 ① 10が10こで100になることを、理解させます。

② 数直線を思い浮かべ、1大きい数は次の数、1小さい数は1つ前の数と考えます。

① ゆたか てん まい てん

② ① ② ③

③ ① ——————
 ② ——————
 ③ ——————

④ ① 20 ② 3

考え方 ① 10点、1点、0点のボールの数を、それぞれ正しく数え、合計何点かを調べられるようにします。「ゆたか」は、10点が7こ、1点が6こです。「まい」は、10点が9こ、1点が2こです。

② 100までの数の大きさ比べです。①、③は十の位が違うので、まず十の位の数を比較します。②は十の位が同じなので、一の位の数を比較します。

③ 数の順列です。①は1ずつ増えていき、②は10ずつ増えていることに気づかせます。③は頭の中で数直線を思い浮かべながら、5ずつ増えていることに気づかせます。

① ①(じゅんに)2、6
 ②(じゅんに)2、1 ③5





② ①(じゅんに)1、1、3
 ②(じゅんに)5、8

考え方 実際の買い物をイメージし、硬貨で26円と58円を作ります。いくつかの場合が考えられることに気づかせます。

① ① ^{ほん}本 ② 本

② まい

③ ————

④  105円
 88円
 120円
 95円

⑤ ① 103 ② 116

考え方 ①、② 100より大きい数は100といくつで考えられるようにします。

① ①10のまとまりが10あります。10が10こで100。1が4つで4。100と4で104。

②10が10こで100。100と15で115。

② 10が10こで100。100と20で120。

③ 100より大きい数のうち、120くらいまでの数の順序をしっかりと覚えさせます。小さい順でも大きい順でも言えるようにしておきましょう。

④ 100円で買えるものは、100円より安いものであることをわかるようにします。ここでは、100より大きい数に関心をもたせるとともに、身近なものの値段などを読めるようにすることが目的です。

⑤ 数直線の1目もりがいくつを表しているかを読み取れるようにします。

① ① ^{ほん}本 ② まい
 ② ①39 ②(じゅんに)6、4
 ③60 ④72
 ⑤4 ⑥30

③ ① ②

考え方 ① 絵を見て、10のまとまりの数とばらの数を正しく数え、全部でいくつあるかを調べられるようにします。

①10が5つと1が6つで56になります。

②10が10こで100。100と10で110。

② 十の位、一の位から全体の数字を求めたり、10や1のまとまりがいくつと数を分解したりする学習のまとめです。

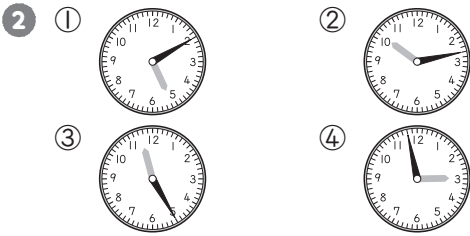
③ 100までの数を含め、120までの数の大小の比較ができるようにします。

おうちの **かたべ** 大きい数の順序、構成をきちんと整理しておきます。数が大きいので、あせらずに取り組ませましょう。

72. ⑱ なんじなんぷん

72 ページ

- ① ① 8じ30ぶん(8じはん)
 ② 2じ5ぶん ③ 12じ40ぶん
 ④ 5じ15ぶん ⑤ 7じ35ぶん
 ⑥ 1じ43ぶん



考え方 ① これまでの、何時、何時半の読み方から進んで、何時何分の時刻が読めるようにします。5分単位だけではなく、⑥のような時刻も読めるようにします。そのためには、時計の小さい | 目もりが | 分を表していることに、早く慣れさせます。
 ② 長い針をかいて、時刻を表します。長い針が小さい目もりを正確にさすようにかかせます。

73. ⑳ おなじ かずずつ

73 ページ

- ① $2 + 2 + 2 + 2 = 8$ こたえ ②こ
 ② 5 ^{にん}人
 ③ ① ④まい ② ②まい

考え方 ① まず、4つの同じ数のたし算をします。この計算は、1つ分の数が2こで、4つ分あると考えます。
 ② おにぎりを2個ずつ○で囲ませます。その囲みの数で、分けられる人数を求めます。人数がわかったら、 $2+2+2+2+2$ のたし算の答えが10になるかどうかも確認するようにします。

74. ㉑ 100までの かずの けいさん

74 ページ

- ① しき $50 + 20 = 70$ こたえ ⑦0まい
 ② しき $29 - 9 = 20$ こたえ ②0こ
 ③ ① 80 ② 100 ③ 46
 ④ 23 ⑤ 85 ⑥ 94
 ④ ① 30 ② 80 ③ 30
 ④ 40 ⑤ 70 ⑥ 80

考え方 ① (何十)と(何十)のたし算です。10のまとまりで考えると、 $5+2=7$ から70だとわかります。
 ③、④ (何十いくつ)と(いくつ)のたし算とひき算です。一の位の数どうしを計算できるようにします。

75. ㉒ 100までの かずの けいさん

75 ページ

- ① しき $32 + 6 = 38$ こたえ ③8ひき
 ② しき $39 - 4 = 35$ こたえ ③5わ
 ③ ① 48 ② 27 ③ 88
 ④ 99 ⑤ 69 ⑥ 79
 ⑦ 34 ⑧ 26 ⑨ 72
 ⑩ 85 ⑪ 52 ⑫ 92

考え方 ③ (何十いくつ)と(いくつ)のたし算とひき算です。一の位の数どうしを計算できるようにします。

76. ㉓ おおい ほう すくない ほう

76 ページ

- ① しき $6 + 2 = 8$ こたえ ⑧こ
 ② しき $9 - 3 = 6$ こたえ ⑥こ

考え方 このような問題では、どちらが多いのか、またはどちらが少ないのか、混乱することがあります。そのため、問題内容を自分なりに図に表すようにします。その図を見て、たし算になるのか、ひき算になるのかを理解させます。

- ① ~よりなんこ多いという場合、多い分を比べる数にたすことで、必要な数を求められます。問題文が長いので、まず「分かっていること」と「たずねられていること」を整理させます。次に、「よしきさん」と「だいすけさん」という2つの量の関係を考えます。問題文をもとに、図のような関係を視覚的にとらえさせることが大切です。
 ② ~よりなんこ少ないという場合、少ない分を比べる数からひくことで、必要な数を求められます。

77. おお 23 大きさをくらべ(2) 77 ページ

- 1 ①① ②①
- 2 ①ひろし ②なお

考え方 ① 広さを比べます。①のように重ね合わせるによって比べられるようにします。②では、□の数を数えて比べられるようにします。□でいくつ分違うかわかります。

② 場所取りゲームで、場所が広いかせまいかの考え方を理解させます。ゲームで2人が取った□がそれぞれいくつあるかで、広さを比べることがができます。□の数の多いほうが勝ちです。

おうちの
かた **②** このような「場所取りゲーム」では、マスのぬり方によって、広がりがあある形のほうが広く感じられたりするなど、広さの判断をしかねることがあります。ここでは、「広さ」はマスの数によって決まることに気づかせることが大切です。

78. たしざん／ひきざん／3つの かず の けいざん 78 ページ

- ★ ①9 ②18
- ③4 ④6
- ⑤8 ⑥1
- ⑦5 ⑧12
- ☆ ① しき $7+8=15$ きたえ 15こ
- ② しき $8-7=1$ きたえ 1こ

考え方 ☆ ⑤~⑧は、3つの数の2回のたし算、2回のひき算、たし算・ひき算の混合計算です。前から順に計算します。

- ⑤ $3+4$ で7、 $7+1$ で8。
- ⑥ $8-5$ で3、 $3-2$ で1。
- ⑦ $6+3$ で9、 $9-4$ で5。
- ⑧ $17-7$ で10、 $10+2$ で12。

おうちの
かた これまで学習してきた、たし算・ひき算の問題を取り上げています。たし算・ひき算は大切なので、間違えたところがあれば、理解できるように、きほんのドリルをふくめてもう一度復習しましょう。

79. おおきさをくらべ(1)／かたちづくり 79 ページ
ものと ひとの かず

- ★ (じゅんに) 2, 1
- ☆ ① □□^{ほん}本
- ② □□本
- ☆ しき $7-1=6$ きたえ 6人

考え方 ☆ 3本の鉛筆の長さを、マス目の数を正しく数えることで比べられるようにします。

★ 前から~番目とわかっているとき、1をひくことで、前にいる人数を求められることをきちんと理解させます。簡単な図もかかせてみましょう。

80. 大きい かず／100までの かず の けいざん 80 ページ

- ★ ① 72^{ほん}本
- ② 100こ
- ☆ ①(じゅんに)54, 60
- ②(じゅんに)70, 85
- ★ ①74 ②55 ③100
- ☆ ①90 ②50
- ③79 ④64

考え方 ☆ ①は2つつつ、②は5つつつ大きくなっていることに注意させます。

★ ①は十の位が同じです。一の位で比べます。②は十の位で比べられます。

★ ①10が4+5で9なので、90になります。

②10が8-3で5なので、50になります。

③74は70と4、4+5=9なので、79になります。

④68は60と8、8-4=4なので、64になります。

おうちの
かた 大きな数の総復習です。数の数え方や構成をもう一度、ここでしっかり確認します。10の集まりは十の位にあたり、ばらは一の位にあたることをきちんと理解させておきます。